

～ 子どもたちに平和な未来を! ～

第27回秋田県母と女性教職員の会



男性教職員も女性教職員も、
父親も母親も子どもも…
垣根を越えて、子どもたちの人権や
教育、社会のあり方について
語り合しましょう!



期 日

2022年9月3日(土)10:15～15:15(受付開始9:45)

会 場

秋田県教育会館 3階会議室 または Web 参加

秋田市山王四丁目 4-14 ※駐車場あり(台数に限りがあります)

☎018-824-5211(秋田県教職員組合)

日 程

10:15 10:30 12:10 13:00 15:00 15:15

開会行事	講演会	昼食休憩	分科会	閉会行事
------	-----	------	-----	------

講 演

叱りたくないのにやめられない!

～「叱る」のメカニズムとその限界～

講師：村中直人さん



村中直人Profile

臨床心理士・公認心理師
一般社団法人子ども・青少年
育成支援協会代表理事(株)
Neurodiversity at Work
代表取締役

著書:「ニューロダイバーシティの教科書」「叱る依存
がとまらない」

子どもや相手のために“よかれ”と思ってや
っていた叱るという行為。

でも、叱る効果は限定的ってホントなの?

叱るがもたらす副作用って何?

私たちは何のために「叱って」いるの?!

今、大ヒット中の「《叱る依存》がとまらない」の著者である、村中直人さんが、脳のメカニズムからその真相に迫ります。

分科会

講演や話題提供を聴いて考えさせられたことや、自分や身の回りの悩みや課題について、子どもを中心に据えて話しあい、よりよい明日への一歩を見つけ合しましょう。

分科会	第 1 分科会	第 2 分科会	第 3 分科会
テーマ	子どもの人権と教育 ～「叱る」の功罪～	家庭学習からひも解く 子どもの人権	“納涼” けんぼうカフェ 聴けば聴くほどさむくなる話
主な 話題	なぜ私たちは「叱る」のか。子どもから見た「叱る」を見つめ直し、「叱る」を手放すための一歩を考えましょう。 《関連して考えたい話題》 ○不登校、引きこもり ○虐待 ○発達障害など	「宿題」「家庭学習」という日常の中に潜む、子どもの人権の課題について、様々な角度から紐解いていきましょう。 《関連して考えたい話題》 ○学力 ○発達障害、不登校 ○子どもの権利 ○貧困など	憲法「改正」の動きが強まっています。憲法が「改正」されたら、暮らしはどう変わるの？ 子どもたちの未来は?! 《関連して考えたい話題》 ○人権、差別 ○平和 ○くらし ○教育を受ける権利
協力者	村中直人さん (講師・臨床心理士)	大河 悟さん (秋田県教組 副執行委員長)	予定していません。
その他		話題提供を予定しています	

申込み

参加を希望される方は、次の方法で8月23日までお申し込みください。

○Web 参加 (ZOOM) の方には、後日、申込みのアドレスに参加方法を送信します。

○昼食代 (弁当) 600 円 (希望された方のみ、受付時に集金します。)

F A X : 0800-800-3712

E-mail : masako_kato@akita-enet.or.jp

⇒ 右の QR コードからもお申し込みいただけます。



お問い合わせ

018-824-5211 (秋教組 加藤・櫻田)

男性の参加も
大歓迎だよ!



・・・ FAXされる場合は、切り取らずにこのまま送信してください。(8/23まで)

第 27 回秋田県母と女性教職員の会 参加申し込み

参加者名	連絡先	弁当希望	分科会希望 (希望の分科会に○)		
		必要 不要	第 1	第 2	第 3
参加方法	対面 Web	Web の方はメールアドレスを記入してください。			
参加者名	連絡先	弁当希望	分科会希望 (希望の分科会に○)		
		必要 不要	第 1	第 2	第 3
参加方法	対面 Web	Web の方はメールアドレスを記入してください。			